

# 府養研ニュース

平成18年10月10日発行  
大阪府養護教育研究会  
会長 河田 安男  
(藤井寺市立第三中学校)

11月号は  
11月6日発行  
予定です。

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

## 来年8月7日は府養研55周年記念大会です。(日程訂正です。)

<http://fuyouken.visithp.jp/55/>

問い合わせ・ご意見は、Mailで本部役員まで [jimukyoku@fuyouken.visithp.jp](mailto:jimukyoku@fuyouken.visithp.jp)  
件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。

平成18年度 府養研役員総会 府養研の支部役員、本部役員の方、日程にご注意を。  
第3回平成19年 1月11日(木) 午後3時～5時 アウィーナ大阪 3階 生駒の間

### 府養研の講演会 **案内添付**

**教育講演会とコンサート** 講演会「誕生からはじまる全人的性教育」  
一障害児の思春期を豊かにするためにー  
12月1日(金) 14時00分～16時45分 大阪府教育センター大ホール  
講師 大阪人間科学大学教授 服部祥子先生・家族のうたコンサート 歌 リピート山中さん

**夏の研修の報告** 好評にて終了しました。以下の**報告記事添付**しております。

- ・LD教育プロジェクト夏季1日研修会報告 於 八尾プリズムホール
- ・施設見学研修報告 たまがわ高等支援学校

**各支部から** ここでは簡単な紹介をします。詳細記事はホームページをご覧ください。

#### 中河内から

**中河内支部養護教育指導技術研修会** 9月11日(月) 東大阪市立市民会館  
講師に花の木医療福祉センターの灘裕介先生をお迎えして、技術研修会が開かれました。  
「軽度発達障害児の感覚統合アプローチ」という題での講演でしたが、市民会館の会議室は立ち見ができるほどたくさんの参加者がありました。

**柏原市養護教育研究会 春の養護学級交流校外学習** 6月15日(木)  
小学校10校、中学校6校の養護学級児童、生徒がアミティ舞洲に集まりました。

**柏原市養護教育研究会ぶどう狩り** 9月12日(火)  
毎年楽しみにしているぶどう狩りに行きました。

\*他の支部も活動報告、紹介等 投稿をお願いします。

**他団体から**1. ムーブメント教育 大阪研究会のご案内 **案内添付**

平成18年10月28日(土) 14:00~16:00 会場 大阪教育大学附属養護学校

平成18年12月 2日(土) 13:00~16:00 会場 大阪教育大学附属養護学校

**12月は 横浜国立大学教授 小林芳文氏による講演、実技の研修会**

10月は通常の例会で、12月は第一人者である小林先生を招いての講演と実技となります。参加費等異なります。案内をご覧ください。

2. 第二回 山城南部支援地域「秋の公開講座」**案内添付**

平成18年10月21日(土) 9:00~12:45 アスピア山城(山城町総合文化センター)

**第一講座** 「自閉症スペクトラムの子育てから伝えたいこと」

高槻市在住保護者

**第二講座** 「自閉症スペクトラムの理解」よこはま発達クリニック

精神科医 村松陽子氏

## 3. アスペルガー症候群の支援ワークショップ

<http://npo.autism-soreiyu.com/seminar06/tony.html>

大阪会場 平成18年11月25日(土) 講演会全通訳

会場 エル・おおさか <http://mic.e-osaka.ne.jp/l-osaka/>

講師: トニー・アトウッド博士 参加費は10000円

**便利な漢字学習教材を2点紹介します**

## 1. 「書字練習プログラム」(日本LD学会より最優秀賞に入賞)を紹介します。

読字・書字障害児へのタブレットPC利用と指導改善プロジェクト

<http://www.shok.co.jp/cehomepage/> のページが表示されたら、中央の「教材(試用版)のダウンロードができるようになりました」というところをクリックしてください。この教材は、マリアン・フロスティクの研究知見に添って作られ、ひらかなと小学1年生の漢字全てを学べるようになっています。タブレットPC用ですが、普通のパソコンでも使えます。

## 2. 「漢字読めるよSTEP1」漢字読みのソフト

こちらは無誤学習の考えに基づいて作成された小学校1年で学習する漢字の読みのソフト「漢字読めるよSTEP1」とその確認テスト「漢字読めるよSTEP1確認テスト」です。下記ブログで公開されています。<http://flashed-soft.cocolog-nifty.com/blog/>

大阪府立交野養護学校 近藤春洋先生ブログ

平成18年 10月2日

大阪府養護教育研究会

会長 河田安男

## 教育講演会とコンサートのご案内

### 講演会「誕生からはじまる全人的性教育」

—障害児の思春期を豊かにするために—

講師 大阪人間科学大学教授 服部祥子先生

### 家族のうたコンサート

歌 リピート山中さん

「特別支援教育」を考える上で、子どもたちのこころをどう理解し、どのように受け止め、かかわっていくのか。子どもたちに関わるさまざまな人たちが共通理解を深め、一人一人に応じた支援をしていくことが求められています。

日々養護学級、養護学校で実践されている先生方、特別支援教育に関心を寄せておられる方々にとって、子どもたちのこころの理解と支援を進める上で、大きい示唆が得られるとともに、こころのエネルギーを得る機会になると思います。

多数のご参加を、こころよりお待ちしております。

□ 日時 12月1日（金） 14時00分～16時45分

受付・開場 13時30分

14時00分 家族のうたコンサート 一休憩一

15時00分 教育講演会

□ 会場 大阪府教育センター大ホール

（地下鉄御堂筋線あびこ下車 東北へ徒歩10分）

\*参加費は無料です。また、お申込みの必要はありません。

\*駐車場がありません。必ず公共交通機関でお越しください。

## 服部祥子（はっとりさちこ）

- 1940 大阪に生まれる。
- 1965 岡山大学医学部を卒業。
- 1966 大阪大学医学部精神神経科入局
- 1968 大阪府中央児童相談所判定課医師
- (1969～72 渡ソ連)
- 1972 大阪市南保健所主任査兼大阪府立小児保健センター医長
- (1975～78 渡米)
- (1979～81 渡ソ連)
- 1981 大阪府立公衆衛生研究所児童精神衛生課長
- 1984 大阪教育大学教育学部助教授
- 1984 大阪府立看護大学看護学部教授
- 2001 大阪人間科学大学人間科学部教授
- 2006 大阪人間科学大学大学院人間科学研究科教授(研究課長)

著書に

- 「親と子―アメリカ・ソ連・日本」（新潮選書）
- 「精神科医の子育て論」（新潮選書）
- 「子どもが育つみちすじ」（新潮文庫）
- 「生涯人間発達論」（医学書院）
- 「人を育む人間関係論」（医学書院）他

リピー ト山中 公式ホームページ <http://repeat.ddo.jp>

- 1960 神戸生まれ。12歳からギターの弾き語りを始める。
- 1993 『モダンチキチキオキズ』(KioonSONY レコーズ)への楽曲提供。プロの作詞作曲家としてデビュー。
- 1996 自作の『ヨ―デル食べ放題』が話題となり、落語家の桂 雀三郎氏と組んだバンド「桂雀三郎 with まんぶくづラザーズ」として東芝EMI からメジャーデビュー。『ヨ―デル食べ放題』は2000年夏12万枚の大ヒットとなりその後、東芝EMI よりライブアルバムをはじめ多数CDをリリース。
- 1997 ソロシンガーとしてフォークの神楽 高石ともや氏にみいげされ、ソロ活動も活発化する。
- 2000 家族をテーマに作った『とんかつのうた』が児童文学に取り上げられポプラ社より《とんかつありあわせ》(吉本直志朗・著)という長編小説として出版される。小説にはリピー ト自身が登場しテレビで『とんかつ』を歌うシーンもある。
- 2001 長崎県立ジャイアンツの依頼で『ヨ―デル勝ち放題』を制作。東京チームのジャイアンツ公式戦応援ソングとして使用された。TVのゴールデンタイムレギュラーもできる。
- 2002 はじめてラジオ番組メインパーソナリティとして月～木の2時間番組を持つ。この番組で2002年度ギャラクシー大賞受賞。
- 2003 ソロアルバム『地球のうた』をリリース。地球環境をテーマにした楽曲が話題となり全国の小中学校の子ども

連対象の学校巡回コンサートがスタート。

- 2004 キャンブルの世界を超えた恋し系競走馬ハルウララのCD『行け行けハルウララ』3月に全国発売。続いて、リピー トのCD『わが家のハルウララ』『嗚呼ハルウララ』付きハルウララの絵本《ありがたうのたま》が8月に全国有名書店で発売。神戸市環域局のコミと資源6分別キャンペーンソング『ワケトンがんばるデー』の作曲・権作詞も手がける。鏡平山荘・双小屋・わさび平小屋など山小屋コンサートがスタート。山入り山でうたう独自のスタンスは《山と渓谷》にも掲載される。
- 2004 12月4日・大阪・サンケイホールにてソロ初リサイタルが大成功。セカンドアルバム『家族のうた』リリース。
- 2005 4月16日・初めて女装にチャレンジする。ギターを持たずピアノ伴奏で歌手マダム・リピー トとなる。
- 2005 8月6日・愛・地球博・愛知県館で「エコライブコンサート」に出演。
- 2005 10月～12月・朝日(ABC)放送TV・ラジオの「ガラスの地球を教える」キャンペーンソングにリピー トの『風のラブソング』が流れる。
- 2006 3月18日第2回ソロリサイタルが大阪・中之島中央公会堂で開催、好評を得る。
- 2006 8月6日永 六輔さんと在宅医療関連コンサートを山口県にて開催、大好評。
- 2006 8月9日ラジオドラマ「二度目の青春」(ラジオ関西毎週木・AM・8:13放送) 主題歌♪二度目の青春行進曲が全国発売となる。
- 2006 8月14日神戸市立須磨海浜水族園のうた♪行こうよおいでよ須磨水族園のうた♪のCD 完成・発売記念コンサートを同園イルカライブ館にて開催。山小屋コンサート・往診コンサート・学校巡回コンサートなど 数多くのコンサートが決定。全国を精力的に廻っている。
- 2006 47都道府県巡回コンサートツアーを実施予定。

## 出演番組など

- ※MBS 毎日放送テレビ『**水野真紀の魔法のレストラン**』(レギュラー)で毎週水野真紀さんの作る料理のレシピを歌にして話題を呼んだ。(現在終了)
- ※フジテレビ『**笑っていいとも!**』にも出演した。
- ※MBS ラジオ『**情報チネオ・スパイス**』(月～木午後3:30～5:30)のメインパーソナリティを務める。(現在終了)
- この番組はラジオ部門で**2002年度ギャラクシー賞を受賞**、日本一になる。
- ※ラジオ 番組のジングルソングを多数担当。 その他、テレビ・ラジオ多数。

## その他の経歴

- ※ホノリルマラソンなどフルマラソン完走歴もある。(3回)最高タイムは4:35分。2003年には家族4人でホノリルマラソン完走。
- ※映画監督として『新家王アルカリキッド』で伊丹映画祭グリーニンリボン賞・銅賞を、『#井プラザーズ』でアリアン・映画祭大賞を受賞した。
- ※子ども向けキャラクターショーの主題歌・挿入歌など音楽を多数担当。
- キッズテーション『よはれとびでてアケビちゃんショー』 ミキハウス『ハッピー&ラッキョー』
- 朝日『ユー&アイヨー』 京都駅ビル『テット&スカ〜ラジヨー』
- 琵琶湖朝日『おーたんジヨー』
- ※レビュー・ミュージカルなどにも楽曲提供している。

## 大阪府養護教育研究会研究部・LD教育プロジェクト 夏季1日研修会 報告

平成18年8月29日、夏の暑いさなか、八尾市文化会館プリズムホールにて府養研研究部とLD教育プロジェクトによる夏季1日研修会が行われました。以下、内容をご報告いたします。

### (1) 午前の部

#### **分科会1** 高槻市障害児教育研究会担当

##### 「ひらがなのスクリーニングテストの実施について」「読み書きの指導事例」

#### 1、高槻市の特別支援教育の取り組みの経過

- ・平成12年度、「LD等の教育相談」から始まり、現在の状況までの報告。
- ・サポートチーム〈専門家チーム〉の構成メンバーについて。
- ・各学校からの相談の流れ。

#### 2、相談内容の具体例

- ・LDの子どもたちの相談は、少ない。
- ・構音障害を主訴として、通級に来る子の中に、読み書きの問題を持つ子がたくさんいる。
- ・二次障害がおこってから、読み書きの問題が発見される。

→読み書きの問題をもつ子の早期発見の必要性



#### 3、ひらがなスクリーニングテストの作成

平成16年度、市内小学校1年生に、一斉にスクリーニングテストを呼びかけ、実施。  
(テストの内容)

- ① モーラ数数え
  - ② ひらがな読み
  - ③ ひらがな単語聴写
- ・スクリーニングの基礎データの紹介
  - ・スクリーニングテストを指導に生かすための、市障研での取り組み

#### 4、通級での具体的事例3例

主訴  
アセスメント  
指導内容

#### **分科会2** 和泉LD・ADHD研究会担当

##### 「地域に広げる子どもたちの支援－NPO法人立ち上げをめざして－」

発表者・・・和泉市立緑ヶ丘小 松田さち子・藤原まち子  
和泉市立青葉はつが野小 浅井良美

分科会2では、NPO法人「ぷちとまとの会」の立ち上げをめざした取り組みが報告されました。「ぷちとまとの会」とは、保護者、ボランティア、障害を持つ人たちが、みんなで知恵を出し合って活動しようという会です。

初めにその原点となった、子ども祭りや若つど、デイキャンプ、遠足、旅行等、「なか

まの輪が広がっていく」養護学級の活動が映像で紹介されました。次に、「立ち上げのきっかけ」となる働く保護者の思いや不安、子どもの将来の就労等、自分たちの力でNPOを立ち上げよう



・・・という思いに至るまでの経過が報告されました。また、NPO法人認証に向けての取り組みでは、行政やボランティアとの違いや活動分野等についての説明がなされ、参加者も熱心に耳を傾けていました。さらに、和泉のNPO法人「ほわほわの会」の宮崎さんが、参加者の質問に答え、法人としての組織や、収益事業、大阪府の委託事業等、ほわほわの会の活動内容等について、くわしく話してくださいました。

参加者のアンケートには、「ぶちとまとの会」にボランティアとしてお手伝いしたい・地域支援について多くのことを学びました・養護学級担任として、子どもたちの放課後や卒業後の心配を、お母さんたちと共に考えていこうという実践発表は素晴らしいものでした・等、たくさんの感想や意見が寄せられました。

最後になりましたが、法人化立ち上げに向け、「夢を持つこと、つながること、あきらめないこと・・・」と、目を輝かせて語る松田先生の言葉がとても印象的で、会場は熱気に満ちていました。

### 分科会3 北河内LD研究会担当

#### 伊丹昌一氏による講義「K-ABC入門編」

昨年度の夏期一日研修会の続編として、本年度は教育アセスメントバッテリーとして欠かすことのできないK-ABC入門研修を行いました。

診断名にとらわれることなく、一人一人の子どもの教育的ニーズを的確に把握するため、WISC-I)等と組み合わせられて使うことの多いK-ABCの内容から採点方法・結果の処理・尺度間の比較・プロフィール分析・認知処理能力に応じた指導法・事例まで、短時間に笑いを交えながらの濃い内容の研修でした。

#### ○K-ABCについて

課題をどのように処理して行くかというプロセスを重視した検査である。

#### 14の下位検査で構成され

・認知処理尺度 ・同時処理尺度・継次処理尺度・習得度尺度であらわされる。

#### ○継次処理能力が強い子どもへの指導法

段階的な考え方  
部分から全体へ  
順序性の重視  
聴覚的手がかりの重視  
言語的手がかりの重視



#### ○同時処理能力が強い子どもへの指導法

全体をふまえた教え方  
全体から部分へ  
関連性の重視  
視覚的手がかりの重視  
運動的手がかりの重視

#### ○レベル2のプロフィール分析

## ○実際の指導事例 AD/HD の二次障害から不登校状態に陥った小6男児の指導事例

今回の内容を知っておくだけで、保護者から受け取った検査結果を、やや余裕を持って見ることができ、指導法の手がかりを見つかることができます。証拠に基づいた仮説を立て、指導方法を考えることで効率的な指導を行えることを再認識しました。

**分科会4** 堺 LD 研究会担当山田充氏によるミニ講演「ADHD と学習困難」  
—支援のあり方を考える—

「授業中に何もしない」という3人の子どもたちの例を挙げ、その原因がどこにあるのかによって支援の方法が変わってくること、また、その支援をどう行ったかが具体的に説明された。



特別支援教育のあらたな対象となる軽度発達障害（境界線領域の知的障害、広汎性発達障害、LD、ADHD）について、その障害の特性と対応の仕方についてひとつずつ詳しく説明がなされた。

その中から、ADHDの特徴を、不注意優勢型、多動 - 衝動性優先型、混合型に分け、さらに詳しく説明があった。また、それぞれの特徴を持つ子どもの事例を挙げ、その支援の仕方を具体的に示した。その支援の中で、大切にしなければいけないことは、次の点である。

- \* 自己コントロールできる力を育てること・・・困った行動を周りから注意しているだけでなく、自分で行動修正できるように訓練していく。
- \* 自尊感情を育てること・・・自分ができていないことがわかるだけに、自尊心が傷つけられやすい。よい面を強調し、少しでも頑張れたことをほめていく。

## (2) 午後の部

講演「発達障害と二次障害 —予防法と対処法—」  
講師 小栗正幸氏

ホールは400名近い参加者で満員となり、活気にあふれていました。

## &lt;内容&gt;

非行化したことで初めて発達障害に気づかされる現実。支援の機会を逸してしまったがために、自尊心の低下によって発現する二次障害によって、発達障害が見えにくくなっている。



## ○二次障害の症状（二次障害＝非行ではない）

- ・勉強に対する無気力
- ・親や教師への反抗
- ・平気で次々うそをつく
- ・弱いものいじめをする
- ・人のものを盗む
- ・夜遊びが目立つ
- ・家出をする
- ・生き物をいたぶる
- ・ナイフ状の物を持ち歩く
- ・引きこもり、家庭内暴力、不登校等
- ・抑うつ、強迫、解離、心身症など

## ○二次障害の予防策

- ・勉強面でのサポートー勉強嫌いへの対応ー行動の原理に矛盾しないやり方で
- ・生活の質を高めるサポートー趣味と友達ー子どもの指向性をアセスメント
- ・生活管理能力を育てるサポートー集団行動スキルやこだわりに対する代替行動

## ○二次障害の対処法

- ・予防的サポートの手法は必携（なぜサイフを盗ったか、そこにサイフがあったから・・・）
- ・保護者との共同教育体制が必携（子どもへの言葉かけ等の注意、有効な言葉の吟味）
- ・行動マネジメントとペアレントトレーニング（実際場面での行動を心地よく）

## ○挑発的行動への対処法

- ・周囲の状況を分かりやすくする（自由にさせるのは有効でない）
- ・望ましいモデルを示して模倣しやすくする（自分で考え自分の判断で行動するのは×）
- ・観察可能な行動を指導対象にする。（背景にある心理状態は指導対象として有効でない）
- ・具体的な小さな変化を起こすようにフィードバックする（成長をじっと待つのは×）
- ・自分の変化が子どもにも分かることを重視する。（人生観とか重視するのは有効でない）

## ○保護者に対する対応

## 言ってしまうがちな禁句

「もっと愛情を注いで云々」（連携が破壊する場合がある）

「お子さんのことで困っているのですが・・・」（「あなたは出て行け」というに等しい）

## 適切なメッセージ

「お子さんが困っています」（主役は子ども）

「うまくいく方法は必ずあると思います」

「できるだけ効果の上がる方法を見つけたいと思います」

その他、親の協力を引き出す対応方法ー親の本音に焦点を当てるーなどのやり方の紹介もありました。

発達障害児に有効な指導法は、間違いなく他の子どもにとっても有効ということでした。

満員の参加者は終始、熱心に講演に聞き入っていました。





行事部主催 **施設見学研修**＜8／25（金）実施＞（報告）

今年度は、大阪府立たまがわ高等支援学校を研修先を選びました。たまがわ高等支援学校は、近鉄奈良線河内花園駅の北約1キロメートルに位置し、今年度4月より、旧府立玉川高等学校の再編整備の結果誕生した、「新しいタイプの学校であり、府民の熱い期待を担ったパイロット的な学校」（たまがわ高等支援学校ホームページより）です。本見学研修には、100名を越える応募を頂いたのですが、今回の研修では、事前に体験実習をお願いしていたため、人数を48名に限定せざるを得ませんでした。せっかく応募していただいたにも関わらず、抽選に漏れてしまった方には、ご迷惑をおかけしました。行事部としては、来年度も再度たまがわ高等支援学校への見学研修を企画・提案する形で、抽選に漏れてしまった方々のご期待に沿えるよう、次期府養研役員に引き継ぎたいと考えています。研修会当日は、天候にも恵まれ、集合時間の約30分前から、多くの方が次々と高等支援学校の校門をくぐられていました。

＜たまがわ高等支援学校側からの概要説明＞

学校に到着後、体験実習の前に、教頭先生より学校の概略について、説明して頂きました。また、体験実習終了後も参加者からの質問に答える形で学校の現状等について、追加の説明を頂きました。以下、その内容の概要を紹介させていただきます。

今年度、募集人数48名に対して67名の受検がありました（府立枚岡樟風高等学校内の共生推進教室生2名は別枠募集）。合格者48名のうち6名は養護学校から、他の42名は中学校（養護学級在籍）からの生徒です。男女の人数は男子37名、女子11名（共生推進教室は男子2名）で、男女比は固定していません。現在通学している生徒たちの約半数は1時間以上をかけて通学しています。選抜の基準及び適性検査の内容等については、各中学校に配布されている「入学者選抜実施要項」（※）、（府教委障害教育課より各市町教委宛に送付され、各市町教委より各中学校に配布されている）「平成18年度大阪府立たまがわ高等支援学校入学者選抜における適性検査の問題について」等をご覧ください。

1年間にかかる諸経費は、実習費が年間数万円かかる以外は、他の養護学校とほぼ同じです。

たまがわ高等支援学校の教育目標は「心豊かな人間の育成を図り、就労を通じた潤いのある社会的自立をめざす生徒を育成する」ことにあります。この目標を達成するため、3つの学科（「ものづくり科」「福祉・園芸科」「流通サービス科」）とそれぞれの学科に2つずつの専門分野（「ものづくり科」＝産業基礎、食品生産、「福祉・園芸科」＝福祉、園芸、「流通サービス科」＝オフィスサービス、バックヤードサービス）が設置されています。また、全員が学習する職業に関する共通の専門教科（清掃・後片付け、販売）もあります。1週間の授業時数（合計30時間）の内訳は、これら職業に関する専門教科（学科別、11時間）と共通の専門教科（2時間）で合計13時間、他は一般教科の15時間と特別活動、道徳、自立活動の2時間です。いずれの専門教科においても働く意欲をどう育てるかを共通目標にしています。

現在の1年生は、ローテーションで3つの学科を全て経験し、2学期の中ごろまでにはどの学科に所属するかを決めることとなります。学科をいったん決めた後は、学科の変更は出来ません。

また、本校では就労を通じた社会的自立を目指す上で、実際の職場を体験することが極めて重要です。そのため、この夏休みに全教員が分担して、約300社を回り、11月の職業体験実習先を開拓しました。おかげで何とか全員が実習（5日間）できるようになりました。来年度は、生徒たちが広域から通学していることもあり、可能なかぎり自宅近くで職業体験実習ができるよう、実習受け入れ先の開拓に向けて、一層努力していきたいと考えています。

現在、クラブ活動はスポーツ（球技、陸上、バドミントンやバスケットボール等のレクリエーション）、格技（剣道）、音楽（合奏、合唱など）の3つのクラブがあり、希望する生徒がそれぞれのクラブで活動しています。

※平成19年度の入学者選抜については、「たまがわ高等支援学校入学者選抜実施要項」が10月末頃に発行される予定です。

学校の概要について説明頂いた後、6つのグループに分かれ（人数を均等にする必要があったため、行事部の方で事前にグループ分けさせていただきました）、食品生産（ものづくり科、1グループ）、オフィスサービス（流通サービス科、1グループ）、バックヤードサービス（流通サービス科、1グループ）、清掃実習（共通科目、3グループ）の実習をさせていただきました。以下、それぞれの実習に参加した行事部役員からの報告を掲載させていただきます。

#### <食品生産の実習について>

食品の8人は、クッキー作りの実習を行いました。頭に帽子をかぶり、丁寧に手を殺菌し、最新のオーブンの機械を使って、生徒がやるのと同じように、粉をこねるところから、原料を絞り出し、焼き上げるまでを実習させていただきました。無事クッキーを作ることが出来ました。また、これから実習予定の、ビニールでのパッキングの機械なども紹介いただきました。

実際、生徒を前にした指導面では、同じ厚さで、鉄板の上に円を描くのが難しいとのことで、黒板に丁寧なイラストを使ったマニュアルの提示などで、きめの細かい先生方の配慮を感じ取ることが出来ました。府内の高校でも、最新の機械を導入した設備で、最高のスタッフの中で指導がなされていることが良く理解できる実習でした。



#### <オフィスサービスの実習について>

オフィスサービスは、ビジネスの現場で必要なマナー（簡単なものは挨拶から）や技術を身につけることを目指します。また倉庫（在庫管理等）や印刷の実習があります。授業は生徒8名で、教職員2～3名が担当しています。コン

コンピュータを利用する授業では、実際の就労に必要な情報機器に関する技能はどのようなものであるか常に念頭におきながら授業を行っているとのこと。また、生徒たちの発達段階に応じた教材を一から準備することの大切さと大変さを具体例を交えて説明していただきました。



実習は、グラフィックソフト「アドビ・イラストレーター」(コンピュータの機種は、Mac)を使ってハートの形を描き、6種類の色付けをするという作業でした。生徒たちが1学期の授業で実際に使ったプリント教材を参照しながら実習に取り組みました。コンピュータ操作の手順が、ワンステップずつ、わかりやすく表示(それぞれの操作で

コンピュータ上に現れる画面が表示)されていて、中学校の情報の授業に、すぐにでも取り入れたいような出来栄の教材でした。教材作りには、大変な時間がかかるということで、教科書等がない中で、生徒たちの発達段階を考慮しながら、教材を一から作り上げる大変さを実感させられた実習でした。

#### <バックヤードサービスの実習について>

「バックヤードサービス」では、飲食業やホテルの客室清掃、ベッドメイキング等を学ぶ学科で、生徒8名、担当者3名で授業を行っています。食器を食器洗い機に入れる、調理器具を洗う、生ゴミの選別などを行う調理系、ホテルのベッドメイキングや部屋の掃除を行うハウスキーピング系、パーティー会場等のセッティングや片づけを行うバンケットサービス系の3種類があり、洗車サービス(手洗い洗車)も予定されています。これらの仕事を責任をもってやりとげることを目標に取り組んでいます。

今回の体験実習では、調理系で最も重要なことは衛生観念であり、「手を洗う」ということを重点に体験させていただきました。

まず、手の汚れを目で確認するために、手の平や甲に糊状のでんぷんをつけてから水で洗い流します。手を乾かした後、イソジン液をかけると洗い残されたでんぷんがくっきりと紫色に色づき、汚れとして確認することが出来ました。洗ったつもりでも汚れが残っていることがよくわかりました。その後、一厨房に入る前に(イラストのついた簡単な指示文で①身だしなみのチェック：5項目、②手洗い：13項目、③エアーシャワー：2項目、④消毒液の入ったマット踏み：1項目、までの手順が示されたもの)の手順にそって「手洗い」の実習を行いました。「手を洗う」ということは基本ですが、雑菌を厨房にもちこまないための「手洗い」の難しさを実感しました。



### <清掃実習について>

階段清掃と廊下清掃の2つのグループに分かれ、「プロの清掃」（お金を頂ける清掃）の実習をしました。モップの絞り方から始まり、ほうき、ダストモップ、ワントッチモップ、塵取りの使い方、使う順番、姿勢など、細かく教えていただきました。



### <各学科の見学>

体験実習の後、体験できなかった学科の実習場所を、グループに分かれて見学させていただきました。その際、各学科の担当の先生から、学科の特色等について詳しく説明していただきました。



### <研修参加者の感想（一部）>

以下、当日施設見学研修に参加していただいた方々の感想を掲載させていただきます。多くの参加者の方々から感想を頂いたのですが、スペースの関係で全て掲載できなかった点、おわび申し上げます。なお、一部文言を変更させていただいた場合もありますのが、ご了承下さい。

・本格的な設備の中で、とても本格的な指導をされているのだなあ、と思いました。養護学校と比べて職業につくということを強く念頭において創られた学校なのだなあ、と感じました。初めての試みなので、今後どのような学校になっていくのか、目が離せないと思います。実際に就職となると大変難しいと思いますが、がんばっていただいて道を開いて頂きたいです。養護学級の担任としてはとても期待しております。

・先生方が、いかに生徒たちを就労につなげるかということに的を絞って工夫され、苦労されているということが伺えました。こんな学校がもっと増えてくれることを願います。

・今回のようなタイムリーな研修であれば、研修の応募者も自然と足が運びます。また、実習まで用意していただき、その中で生徒たちの授業の様子も伝えていただき、とてもよかったです。

・掃除の実習をさせて頂き、すごく参考になりました。雑巾の絞り方、階段のふき方、ごみの集め方など通常学級の生徒にも必要な内容で、すぐにでも活用できそうです。他の実習内容も少しだけでも体験したいと思いました。

・たまがわ高等支援学校の施設・設備を見学させていただき、色々と参考になりました。もっと時間をかけて各担当の先生方からお話を伺いたかった部分も

ありましたが、この点については来年度も同じ企画が必要かと思いました。また、実習後の参加者からの質問に丁寧に答えていただき、御礼申し上げます。

・とても参考になりました。知的障害といっても障害の程度の幅は広く、その中でも「レベルの高い子」が通っているのかなと感じました。(私が)担当している生徒が軽度自閉症で、受検・合格できるのかなあ、と不安も感じました。まとめ学習で子どもに感想を書かせるのを見て、「感想かあ…」と不安になりました。通学等課題が沢山ありますが、就労を目的としたカリキュラム内容がしっかりしているので、是非保護者にすすめたいと感じています。

・とてもきれいな学校で、びっくりさせられました。学校の説明はビデオ等も使い、わかりやすいものでした。実習体験では清掃分野で、考えられた清掃方法に感心させられました。生徒と同じ体験をし、よかったと思っています。

・研修の流れが、はっきりわからず見通しがつかなかったのが残念です。体験も希望ではなく、ふりわけであったので、事前にお知らせいただいた方がよかったと思います。

・社会への自立に向けての経験を多く取り入れてやろうとされているのがわかりました。まだこれからですので、就職とか考えると不安もあります。各市に1つずつ開校できるといいですね。

・実習はそれなりによかったが、実習よりもこの学校の生徒の様子、学校運営や、スタートに向けての苦労、今後の展望などをもっと聞くことが出来たらよかった。その時間が少なかったのが残念です。

・2年前訪れたときには学校全体がボロボロで1年半後に開校できるのか心配していましたが、全体的にスッキリしていて驚きました。清掃体験は初めてのことばかりで戸惑いましたが、良い体験になりました。各実習室には色々な工夫がなされていて楽しく見させてもらいました。

・とてもきれいで充実した施設、設備で、環境が整っていて、すごいなあと思いました。障害のある生徒の最大の悩みは就職する(仕事につく)ことであると親御さんから常々聞かされていますので、この学校に入学した生徒たちの3年間の体験は、大きなものになることと思います。ただ、通学の問題等を考えると、(この学校を)選択できる生徒は限られてしまうかな、という気もします。

・不登校気味であった生徒が、(この学校に進学してからは)「ずっと休んでいない。カゼで1回だけ休んだけど」と言って、喜んで通学しているという話を聞きました。やはり、わかりやすく丁寧な魅力ある指導によるためだと思います。

・丁寧な説明に加えて実習体験をさせていただき、有り難うございました。バックヤードの実習を体験させていただく中で、1人ひとり、ポイントをおさえでの指導がなされ、先生方の生徒たちへの姿勢を感じさせていただきました。進行係の先生方も研修内容の見通しが持てるような説明をされ、個々に気を配っておられる様子が伺えました。各見学場面の先生方の説明もポイントを押さえておられたように思います。心より感謝申し上げます。

・今回参加させて頂いて本当によかったです。施設の見学だけでなく、授業の体験が出来たのでより具体的に普段の学校生活が想像できました。説明も詳しくさせていただいて参考になりました。この研修を企画していただいて有り難うございました。生徒や保護者の方にも伝えたいと思います。

・説明の際、ビデオを見ながらの説明でしたのでよくわかりました。実際さながらの設備が整っており、体験学習を通して経験を積むことができるので、抵抗無く職に就けるのではないかと思います。作業は、清掃グループでしたが、掃き方、モップの使い方等々、細かいところまでわかりやすく指導していただきました。現場に戻り、子どもたちにも再度ほうきの扱い方、ぞうきんの絞り方等教えていきたいと思います。

・清掃方法にここまでマニュアルがあるとは思っていませんでした。スウィングしながらやると美しくなるうえに楽しくなりそうです。TDL（東京デズニランド？）の清掃を目指して活動するのもいいかもしれません。

・施設等について詳しく見学できてよかったです。今まで、知的障害の中学卒業以後の進路が、養護学校高等部以外にあまりなかったもので、高等支援学校の取り組みが実績を上げていくことを期待しています。

・設備、広さ等充実していると思いました。新設での良い点は沢山ありますが、一期生の進路指導の難しさを予想してしまいました。専門教科、実習に重点を置きつつ、高校生であるため、一般教科も指導しなければならないだろうし…。生徒はほぼ全員登校できていることから推測できるように、皆楽しく通学できていることがすごいですね。卒業生の多くが社会性を身につけ、働く喜びを感じ、自立していつてくれることを期待したいと思います。

・現在小学校6年生の男子児童の進路について悩んでいます。将来の就労の参考として、ビデオによる説明や清掃体験の内容等を保護者にも話してみたいと思います。

・将来を見通し、また常に就労を意識した教育課程に感心しました。今回は清掃体験しかさせてもらえなかったもので、次の機会を楽しみにしています。今年度スタートということで、ひとつひとつ積み上げていく大変さを感じました。施設・設備に恵まれ、内容の充実に注目されている点、大変でしょうが、がんばって下さい。

・実際に手を洗う実習があり、ヨード液につけて汚れ具合を目にしたり、授業を受ける生徒と多分同じ驚きやさっぱりした気分を味わって面白かったです。次は生徒がどのような説明でどう理解し、どう動いていくのかを実際の授業の場で見学したいと思いました。どのような生徒が学んでいるか大変関心がありますが、先生方がどのように支援されているかということも学びたいと思っています。

以上、今年度行事部主催の施設見学研修の報告とさせていただきます。府立たまがわ高等支援学校の先生方、当日はお忙しい中、府養研施設見学研修のためにお時間を割いていただき、本当に有り難うございました。末尾ながらお礼申し上げます。

文責 行事部 吉野 猛（箕面市立第二中学校）

# ムーブメント教育 大阪研究会のご案内

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005年10月から大阪でも研究会をスタートしました。

すでに東京、神奈川、福井、石川、富山、長野、千葉、茨城、北海道、青森、徳島、愛媛ほか、各地でムーブメントの研究会や子どもや成人老人等を対象としたムーブメント教室が開かれています。

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

## 研究会の予定

日 程 平成18年10月28日(土) 14:00~16:00

会 場 大阪教育大学附属養護学校

大阪市平野区喜連4-8-71

大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 3番出口より東へ約150m

参加費 500円

☆ 偶数月 第2土曜日 を基本としていますが、今回は、第4土曜日となっております。

☆ 運動しやすい服装と体育館シューズをご用意ください☆

☆ 問い合わせ（参加申し込み）（自宅・携帯・メールをお願いします）

大阪教育大学 附属養護学校 金川朋子

E-mail kogorou123@nifty.com

携帯 090-9984-1183 自宅 FAX 072-367-0713

----- き り と り -----

平成18年10月28日(土)研究会 参加申し込み用紙

ご氏名(ふりがな)	所属名	連絡先

\* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。

# ムーブメント教育 研修会のご案内

## 横浜国立大学教授 小林芳文氏による講演、実技の研修会

ムーブメント教育 大阪研究会 (JAMET 大阪支部)  
代 表 金川朋子 (大阪教育大学附属養護学校)

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005年10月から大阪でも研究会をスタートしました。今年の夏、大阪で夏期セミナーが開催され、ムーブメントが大阪を中心として西日本でも大きく広がり仲間が繋がってきています。

今回、昨年12月17日の研修会、夏期セミナー大阪大会に引き続き、ムーブメント教育 第一人者である小林芳文先生(横浜国立大学教授、日本ムーブメント教育・療育協会会長)をお招きし、講演・実技をしていただくことになりました。

研修会の初めは、小林先生と子どもたちのムーブメント教室をとおしての研修を計画しております。

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

☆ 日 時 :平成18年 12月 2日(土) 13:00～16:00

☆ 会 場 :大阪教育大学 附属養護学校

〔 大阪市平野区喜連4-8-71  
大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 3番出口より東へ約150m 〕

☆ 講 師 :小林芳文先生 横浜国立大学教授 日本ムーブメント教育・療育協会会長

☆ 参加費 :2,000円 (当日 徴収いたします)

☆ 申し込み方法

:下記の申込書にご記入の上、FAXもしくは、メールでお申し込みください。

☆ 申し込み先

:金川朋子 自宅 FAX 072-367-0713

:E-MAIL kogorou123@nifty.com

☆ その他

・動きやすい服装でご参加ください。体育館シューズをご用意ください。

・問い合わせ等

金川朋子(大阪教育大学 附属養護学校)

学校TEL 06-6708-2580 学校 FAX 06-6708-2380

携帯 090-9984-1183 自宅 FAX 072-367-0713

### ☆ムーブメント教育 研修会(12月2日) 参加申し込み☆

ご氏名(ふりがな)	所 属 名	連 絡 先

\* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。



## 第二回 山城南部支援地域「秋の公開講座」

日時：10月21日（土）9：00～12：45

場所：アスパシア山城（山城町総合文化センター TEL0774-86-5851）

京都府相楽郡山城町大字平尾小字前田 24 番地

内容についての会場へのお問い合わせは御遠慮下さい。

講座内容：

### 第一講座

「自閉症スペクトラムの子育てから伝えたいこと」

高槻市在住保護者

### 第二講座

「自閉症スペクトラムの理解-自立への課題-」よこはま発達クリニック 精神科医 村松陽子氏

専門は児童精神医学、京都第二日赤病院をへて京都市児童福祉センター勤務、米国ノースカロライナ大学 TEACCH 部に於いて自閉症支援について研修、TEACCH プログラム研究会副会長

主催：京都府立南山城養護学校（山城南部支援地域事務局）京都府山城教育局

後援：朝日新聞厚生文化事業団 京都府立南山城養護学校 PTA

本講座は、京都府立南山城養護学校が特別支援体制推進事業の一環で行う、地域支援の一環です。

参加費は無料となっておりますが、できるだけ事前の申し込みをお願いいたします。当日会場での保育はしていません。申し込みは FAX か e-mail のみとなります。電話での申し込みはできませんので、御了承下さい。御質問等は e-mail にてお願いいたします。

- 申し込みの際は、
- ・連絡先住所（個人情報管理は厳格に行います）
  - ・電話番号／FAX 番号／e-Mail
  - ・氏名
  - ・職業／所属／保護者等の別

なお、複数の参加の場合連名でも構いませんが代表者の連絡先の記載は間違いなくお願いいたします。また、受理の返信は原則として行いませんが、申し込み多数の場合、お断りの返信を行う場合がございます。あらかじめ御了承下さい。

申し込み先

京都府立南山城養護学校 FAX0774-72-7256 担当大森

e-mail ohmori001@mail.goo.ne.jp

本情報の転載は御自由にお願ひします。できるだけ多くの方の参加をお待ちしております。お誘い合わせの上御参加下さいますようお願いいたします。近日中に案内文を HP にアップいたします。 <http://www.kyoto-be.ne.jp/minamiyamashiro-s/>